



# 伊丹工房 —職人と出会う1日— Vol.2

見て、聞いて、ワクワク体感！伊丹オープンファクトリー



オープンファクトリー(ワークショップ風景)



今回ご紹介するのは、伊丹市北本町にある株式会社精和工業所のオープンファクトリー！  
『今日困難なことを明日は可能にする会社でありたい』

この言葉を胸に、日々挑戦を続けるプロフェッショナルたちの現場を、今回特別に取材しました。

オープンファクトリーとは、製造業が製造現場を公開し、企業や市民の方々にもものづくりの過程を見学・体験してもらうことができるイベントのことである。普段は立ち入ることのできない工場や工房の内部を見ることができ、職人や技術者の手仕事を間近で見ることができる。また、地域の産業を身近に感じてもらうだけでなく、製品が生まれる過程を知ることで、ものづくりに対する理解を深める機会としても注目されている。

今回の取材先は、工場街に広大な敷地を構える企業である。道路を挟んで向かい合う複数の工場では、従業員が行き来する姿が見られ、散歩中の近隣住民へ気さくに挨拶を交わす光景も印象的だ。

1965年に創業した同社は、ステンレス素材を用いた溶接加工を中心に事業を展開してきた。創業当初から“ステンレスの可能性”に着目し、特に薄板溶接の技術を磨き続けてきた。現在では伊丹本社に加え、奈良・福知山にも工場を構え、幅広い製品を手がけている。

ステンレスは耐食性・強度・加工性に優れた素材だが、扱いが難しく、特に薄板溶接には高度な技術が求められる。「だからこそ、技術を磨けば大きな価値を生み出せる。その魅力に惹かれてきました」と語るのは、代表の原氏である。

同社の最大の強みは、薄板ステンレス鋼の溶接技

術だ。電気温水器やエコキュートの貯湯タンク、燃料電池関連部品など、耐食性や溶接部の強度が求められる製品に多く採用されている。溶接はわずかな条件の違いで品質が変わるため、日々の検証と改善が欠かせない。

新たな挑戦として、同社は“ホットビール”に着目した。ビールの本場ドイツやベルギーでは一般的で、寒い時期や風邪予防、眠れない夜に飲まれてきた歴史がある。温めることでコクのある味わいが出ることが特徴だが、泡や炭酸が弱くなる課題があった。

そこで同社は、国内で世界初となるホットビール専用サーバーを開発。日本独自のホットビール文化をつくるべく、地域イベント「いたみ冬の元気まつり」にも出店し、約500杯を完売する



ホットビールサーバー



# 株式会社精和工業所

代表取締役 原 克彦

住 所 伊丹市北本町 3-105

電話番号 072-782-0281

休業日 土・日・祝 (会社カレンダーによる)

会社HP



Instagram



Instagram



公式アカウント ホットビール専門店



ほどの人気を集めた。これまで地域イベントへの参加には慎重だった同社だが、ホットビールやオープンファクトリーをきっかけに、地域の“顔”として存在感を高めつつある。

“品質第一”を掲げる同社にとって、人材育成は欠かせない。溶接は職人技の世界であり、一朝一夕では習得できない。そのため未経験者でも技術を身につけられる教育制度を整備し、若手からベテランまで互いに学び合いながら技術を継承している。また、設立60周年を機に「SEIWA LIFEBOOK」を創刊し、社員一人ひとりがこれからの人生をどう豊かにしていくかを会社と共に考える仕組みづくりにも取り組んでいる。社員が会社の“共感者(ファン)”となることでエンゲージメントが高まり、ロイヤリティやパフォーマンスの向上、離職率の低下、連帯感の強化、共感する人材の採用など、組織の一体感を高めながら新たな挑戦を続けている。



社内打ち合わせ風景



営業部と原社長

地域に自社の現場をひらく取り組みとして、同社は今年の5月に開催されるオープンファクトリー「あるこ〜ば」の主催を務め、当日も参加を行う。昨年9月に行われた「あるこ〜ば」では120名が来場し、近隣の小学生を招くなど地域との交流が深まった。

原社長が特に驚いたのは、近隣住民の来場が非常に多かったことだ。「どんな会社なのか気になっていたので、知ることができてよかった」「前から興味があった」といった声が寄せられ、開催の意義を強く感じたという。

今回で2回目となる「あるこ〜ば」は、前回『伊丹工房』(2025年8・9月合併号)で紹介した(株)M&Aとの共同開催で、協賛企業も加わり、これまで以上に大きなイベントとなる予定だ。原社長は「次世代を担う子どもたちが伊丹市の事業所に興味を持ち、モノづくりの魅力に触れられる環境づくりこそが重要です」と語る。ワークショップでは、社員にとっては当たり前の作業でも、来場者からは「とても面白かった!」という声が多く、社員自身の新たな気づきにもつながっている。

地域全体でモノづくりの魅力を発信し、企業・住民・次世代をつなぐ場として、オープンファクトリーの価値はますます高まっている。



・曲げ加工



・貯湯タンク



## あるこ〜ば

伊丹初、地域一体型オープンファクトリー <5月22日(金)・23日(土) 開催決定! >  
参加工場を巡ってものづくりを体験しよう!

あるこ〜ばインスタ



@ARCOBA2025